



夢・知恵・元気で新たな挑戦!!

～メイドイン池田の商品開発進む～



商品紹介はP9

3月定例会 31年度町予算決まる

平成31年度予算の目玉	P2～3
予算・議案・陳情審議	P6～11
あなたの声を町政に(一般質問)	P13～19
議会活動レポート	P20～21
町民のみなさんに聞く	P22

総額50億8900万円(対前年比7.8%の4億3000万円減)

文化財管理施設の整備へ!!

● 3月定例会の概要

3月定例会は、2月27日～3月15日まで開かれた。議案29件、同意14件、発議3件を審議し、すべて可決した。陳情5件のうち1件を採択、1件を趣旨採択として関係機関へ意見書を提出した。

公民館跡地 ミニ公園整備事業

5500万円

公民館の移転跡を
ミニ公園として整備

【財源】

国庫支出金	2730万円
地方債	2490万円
町一般財源	280万円



公民館跡地はミニ公園に
教育会館は専門学校第2校舎へ

専門学校整備事業

1000万円

教育会館を
第2校舎として改修
学校法人日本アルプス
国際学院に貸し付ける
改修費は家賃とともに償還

【財源】

町一般財源	1000万円
-------	--------



風しん予防事業

310万円

対象者に風しん抗体検査と
予防接種を行う

【財源】

国庫支出金	155万円
町一般財源	155万円

歯科検診事業

24万円

歯周病予防検診実施
1人3000円を補助
対象年度内年齢
40・50・60・70歳

【財源】

県補助金	16万円
町一般財源	8万円

小中学校給食費の 一部町負担

1284万円

児童生徒の給食費
1人当たり2万円を負担

【財源】

町一般財源	1284万円
-------	--------



マレーシアの学生との給食交流

公民館跡地ミニ公園と

主な目玉事業は…

文化財管理施設

整備事業

2564万円

現図書館移転後、
1階を教育委員会事務室、
2階を文化財管理施設として整備

財源

社会資本整備総合交付金	910万円
地方債	820万円
町一般財源	834万円



展示を待つ文化財資料

新ごみ処理施設

整備費

1億7529万円

穂高広域施設組合
ごみ処理施設更新に伴う
施設整備費の分担金

財源

地方債	1億5290万円
町一般財源	2239万円



新穂高ごみ処理施設起工式

農業次世代人材

投資資金

750万円

次世代を担う農業者志向の
50歳未満の方に給付
農業支援1人150万円
夫婦225万円

財源

県補助金	750万円
------	-------



新規農業者を応援する

役場庁舎施設

補修工事

800万円

役場庁舎の正面と北面の
外壁を補修

財源

町一般財源	800万円
-------	-------

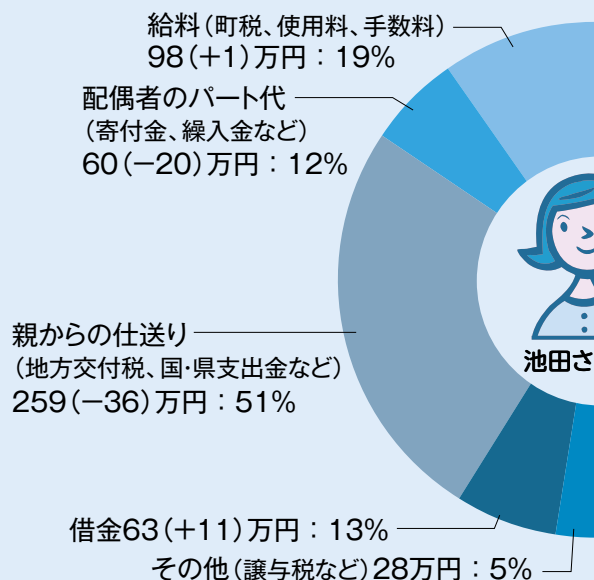


改修が待たれる役場庁舎

平成31年度 池田さん家の家計簿

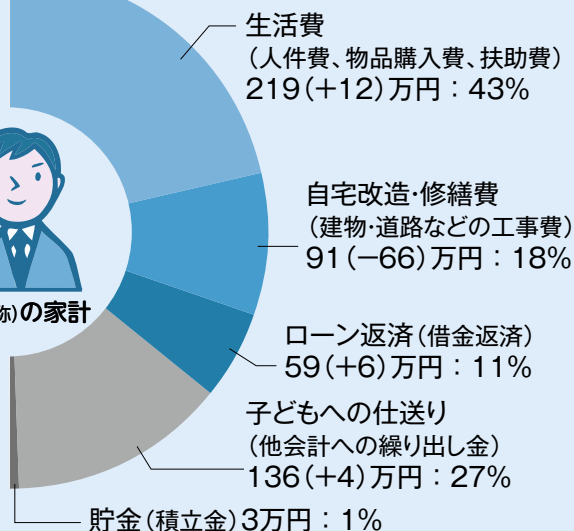
31年度一般会計予算50億8900万円を
池田さん家(仮称、年間収入508万円)の家計に置き換えてみました

収入 年間508万円の収入源



支出 年間508万円の使われ方

()内は昨年との比較数値



池田さん家の平成31年度の見通し

今年は家の建て替えや庭の整備などが一段落したものの親からの仕送りなどが減り、借金が増え返済額が支出の1割を超え貯金が減ってしまう。

平成31年度予算総額は 73億8709万円

今年度の予算は、一般会計で昨年度比 7.8%減の 50 億 8900 万円。国民健康保険特別会計など 5 つの特別会計予算の総額は、5.2%増の 19 億 2833 万円、水道事業会計は 16.1%増の 3 億 6367 万円(収益的収支と資本的収支の合計から減価償却費 8368 万円を除く)、全会計を合わせた予算総額は、3.7%減の 73 億 8709 万円です。

	31年度予算額	対前年度増減
池田町工場誘致等特別会計	608万円	0
池田町国民健康保険特別会計	11億87万円	7342万円
池田町後期高齢者医療特別会計	1億3771万円	94万円
池田町下水道事業特別会計	6億8129万円	2158万円
池田町簡易水道事業特別会計	847万円	-54万円
池田町水道事業会計	3億6367万円	5357万円



主な議案の説明と 審査結果

3月定例会
提出案件

○…賛成 ●…反対

区分	件名	審査結果	倉科栄司	横澤はま	矢口稔	矢口新平	大出美晴	和澤忠志	薄井孝彦	服部久子	櫻井康人	立野泰
議案	池田町課設置条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	池田町税条例の一部を改正する条例の制定 町民法人税割額を平成31年10月より8.4%から7.2%に引き下げる改正	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	池田町水道事業加入分担金の徴収に関する条例の一部を改正する条例の制定 消費税法の一部改正により税率引き上げに伴う加入分担金	可決	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
	池田町交流センター設置条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	池田町公民館設置条例の全部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	池田町図書館設置条例の一部を改正する条例の制定	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	池田町都市公園条例の一部を改正する条例の制定 町の都市公園として「かえで広場(池田町交流センター西)」を設置する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	池田町公共施設使用料徴収条例の一部を改正する条例の制定 交流センター施設使用料を新たに定める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	池田町立美術館条例の一部を改正する条例の制定 町立美術館展示室の一部使用が可能となり施設使用料などを定める	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	池田町第6次総合計画の策定	可決	○	○	●	●	○	○	○	●	○	○
	平成30年度池田町一般会計補正予算(第11号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度池田町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度池田町工場誘致等特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度池田町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度池田町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度池田町下水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度池田町簡易水道事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度池田町水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成29年度池田町地域交流センター等建設工事変更請負契約の締結 しゅん工期限を平成31年3月15日から平成31年7月31日に変更する	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成30年度池田町一般会計補正予算(第12号) 小中学校のエアコン設置費2億5163万円を補正する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	池田町特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定 交流センター工期遅延に対する町の責任を明確にするため町長3%及び副町長1%の給与1カ月分を減額する	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
発議	平成30年度池田町一般会計補正予算(第11号)に対する附帯決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	平成31年度池田町一般会計予算に対する附帯決議	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	全国知事会の「米軍基地に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書	可決	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
陳情	全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書を提出する事を求める	採択	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○
	国に「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●
	奥山等のスギ・ヒノキ放置人工林を、森林環境譲与税(仮称)で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書	不採択	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●
	消費税10%への増税中止を求める意見書提出の陳情	不採択	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●
	通学支援バスに関する陳情書	趣旨採択	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

一口メモ

請願(陳情)の採択・不採択…議会がその内容を審議して決定した賛否の意思決定のこと
表決(可決・否決・同意など)…議会の意思決定(個々の議員が参加し、議題などに対して賛成、反対の意思表示する)

ここが
聞きたい

予算審査質疑

平成 31 年度の一般会計及び各特別会計、水道事業会計について予算決算特別委員会で審議しました。町政全般にわたり多くの質疑がありました。その中から、いくつかの審議内容をお知らせします。

農産業・観光事業

農産物加工施設の今後は

問 カモミールが10月で廃業するが町はどの様に考えているのか。

答 農産物加工工場は6次産業化の拠点として考えている。5月～6月までに方針をだしたい。レストランはそのまま営業ができる。農産物加工場とレストランを一緒にするか、別々に管理するか考えている。



残したいピストロカモミール

花の里づくり推進補助金は

問 1軒千円の花の苗の補助金の人気が高いので復活してもらいたい。

答 今年もう1年団体助成の結果を見て検討して行きたい。

要望 植える花はバラバラより町にふさわしい花を決めて植栽してもらえたらどうか。

花フェスタへの取り組みは

問 4月25日から6月16日に長野県で開催される全国都市緑化信州フェアの取り組みは。

答 予算150万円でクラフトパーク、ハーブセンター、十日市場の3箇所の植栽を計画している。

シェアベース・にぎわいガラスの破損は

問 シェアベース・にぎわいのガラスの破損は、業者の瑕疵ではないのか。町で責任を取る事は遺憾である。専門家に相談していただきたい。

答 再度確認をしたい。

問 施行管理、施行管理設計、工事者の瑕疵と考えるがどう捉えているか。

答 メーカー担当者は温度差による破損はごくまれで補償できないとの回答だ。取替えの際には施行業者、設計管理者も立会い原因を確認し、結論を出す。



施設の安全管理を求める

問 1年未満での自然破損なら、瑕疵として通用する。第三者の意見を聞く必要がある。

答 第三者の意見を確認して報告したい。

まちなか活性化支援事業費の内容は

問 まちなか活性化支援事業に700万円は何か。

答 社会資本総合整備事業として施設改修とイベントを開催する。

問 まちなかにぎわい拠点施設に町から指定管理料と委託料が出ている。新たに700万円の計上は、商業の発展につながるのか。

答 まちなかのにぎわい創出のため事業にとりくむ。

問 まちなか活性化のための施設整備なら解るが、一過性なものでは活性化に繋がらないと思うが。

答 シェアベースの向かいの空き店舗をアンテナショップとして起業する方に利用してもらう話もあったが、できなくなり、ソフトの話が残った。



シェアベースにぎわい「笑いヨガ」講座

住民福祉健康事業

介護支援体制の状況は

問 介護支援センターで抱えている課題は何か。

答 介護認定の高齢者と共に認知症が増加。認知症政策の重点課題は、地域での認知力フェやサロン、自治会などで理解を深めていただき、支援につなげていくことである。

問 生活支援体制整備事業委託の内容は。

答 協議会が創られ生活支援として、困った時の助けサード、交通も含めた検討をしている。今年度、サードのガイドハンドブックを作成し、活用しながら進めていく。

はつらつ健康スタンプ事業の状況は

問 はつらつ健康スタンプ事業費が減少しているが、人数減少があるのか、また、努力義務が必要と思うが如何か。

答 平成27年度～29年度の実績は440人～450人の中での利用だ。特定健診受診率を上げてきたが高齢者が多い状況。3年が過ぎたので健康を認識してほしいことから、ひとりあたり20000円から10000円に金額を変更した。

後期高齢者への人間ドック補助金は

問 予算130万円は少ないと思うが人数も含め聞く。

答 現在、一泊が8名、日帰りが47名、脳ドックは9名が受診。一泊上限4万円、日帰り2万円、脳ドック1万円を補助している。早期発見、早期治療が大切。是非、活用していただきたい。

新年度の町営バス運行委託事業の方向は

問 運行会社の変更による委託契約やその他の事項に変更があるのか。

答 運転業務は現在の乗務員が運行する。支障の無いよう引き継ぎ済みである。委託料は昨年と同額である。随意契約で、広津線と巡回線は陸運局から許可を受け運行している。



地域の足となった北安観光タクシー

美しいまちづくり事業は

問 不法投棄の現状は。

答 監視連絡員10名を委嘱し、月2回程度のパトロールをしている。以前のように大量なごみは見うけないが細かいごみや空弁当は相変わらず。

問 一斉清掃デーのごみ袋の配布や町独自の袋の開発によって、地域の美化に繋がればと考えるが如何か。

答 自らごみ袋を用意することとも住民の意識の高揚に繋がりに大切なしたい。両面から検討し、美しいまちづくり委員会でも検討させていただく。

消費者相談について

問 消費者行政費について、相談員や件数など内容を聞く。

答 消費者相談は、火曜日と木曜日に設定されているが、その日に限るということではなく、随時受け付ける体制をとっている。大町消費生活センターでは専門員が相談に当たる。相談件数は昨年11件、その前が20件と減少。大町市消費生活センターの池田町分は17件で昨年度は21件である。

公共施設等管理事業

旧上原商店跡地は

問 旧上原商店事務所の有効活用は。

答 人口増対策に繋がるアイデアを募集している。2件申し込みがあり、事務所は耐久性や耐震性問題から、取り壊す方向である。

専門学校第2校舎改修は

問 教育会館の改修費約10000万円のうち、町が出す貸し手責任の改修費はいくらか。

答 まだ確定していない。

庁舎施設改修について

問 庁舎の施設補修工事費800万円の計上だが、根本的にこれでよいのか聞く。

答 当面は保守できるという判断である。

問 庁舎が大分傷んでおり、耐用年数から後何年で建て替えなければならないという診断がでているのか。

答 長寿命化計画では30年度31年度の2カ年計画で出すということから、1年は待つてほしい。



町の賑わい誘致に活用
旧上原商店跡地

教育・文化芸術事業

信州池田町学びの郷保小
中15年プランについて

問 信州池田町学びの郷
保小中15年プラン事業と
は。

答 平成34年度スタート
の保小中連携プラン運営
委員会を組織して検討す
る。学校活性化委員会を
中心に25名程度を想定し、
傘下に研究推進委員会を
置き、具体的内容を検討
する。

問 信州池田町学びの郷
保小中15年プラン事業を
どう発信していくのか。

答 今後教育委員会
で考えていく。HP、広報
SNSなどお金を掛けな
いでやっていきたい。地
域の人の理解と協力が
なければ進まないの
でしっかりと時間をかけ
対応していきたい。

小中学校のエアコンは

問 小中学校のエアコン
設置の状況は。

答 設計業務は3月25日

までの工期であり、概算工費は
出てきた。4月に入り工事の入札
をしたいが、工期については、1
月末までとしたい。今夏までには
間に合わないと思われる。

町交流センターについて

問 「かえで」のグランドオープ
ンの内容は。

答 11月の図書館開館と合わせ、
著名な方の講演会を予定している。
クラフトパーク振興事業について

問 美術館は経費がかかる。今後
の運営は。また、創造館の考え方は。

答 美術館は入館者も増加してお
り施設修繕をしながら維持して行
く。創造館は、パターゴルフ場の
活用案が出ている。入浴施設を中
心にスポーツ的なことも取り入れ
総合的開発を考えているが、問題
は費用面である。



クラフトパーク
今後の利活用が検討される

本会議討論

新年度池田町一般会計予算について

薄井孝彦 議員

賛成討論

厳しい財政状況のなか、学校給食の1万
円補助追加、風疹予防事業、認定こども園
へのエアコン設置、創業支援事業、ワイン
農家への支援、外国人旅行者誘致事業、信
州池田町学びの郷保小中15年プラン事業など新たな取
り組みが盛り込まれた予算となったことを評価する。
商工系の「まちなか活性化支援事業」は一過性のソ
フト事業ではなく、まちなか活性化につながるハード
事業に使うよう留意されたい。

賛成討論

矢口 稔 議員

社会資本総合整備事業も最終年度とな
り、歳入歳出予算は前年度比7.8%の
減少となったものの、新規事業として穂
高広域施設組合新ごみ処理場建設整備費
1億7529万円など大型公共事業が続
いている。保育園へのエアコン設置1084万円
小中学生への給食費1万円の補助上積みで年2万円と
なり、子育て世代にとっては一歩踏み込まれており評
価できると言える。「信州池田町学びの郷保小中15年
プラン事業」は、独自のプランとして子どもたちの成
長とともに大いに期待する。
一方、財政面での基金繰入額が大幅に上昇し、全予
算の地方債残高は100億円を超えている。予算は
使い切るのではなく、あくまでも予算である。各事業
においては必要最小限の予算で最大限の効果を生むよ
う見極めて執行していただくよう切に希望する。

結婚新生活支援事業費補助金

1世帯につき上限30万円まで

新規に結婚した世帯の結婚に伴う住宅取得費用、住宅賃貸費用、引越費用を
支援しています。次の条件を全て満たす世帯が支援の対象です。

- ①世帯の前年の所得が340万円未満であること
- ②補助の対象となる住居及び夫婦のどちらかの住民票が池田町内にあること
- ③平成31年3月1日から平成32年2月29日までに婚姻届が受理された夫婦
- ④婚姻届提出時点で夫婦ともに34歳以下
- ⑤町税等に滞納がないこと
- ⑥過去に同様の補助を受けたことがないこと

【申請・お問い合わせ】企画政策課・町づくり推進係 TEL62-3129
出典：わかりやすい町の仕事

【知っ得！コラム】
こんな補助制度あります!!



予算審議総括意見

八幡神社境内防火水槽の撤去について

八幡神社境内の防火水槽の撤去予算が計上された。祭典舞台や歴史ある建物が数多くある所であるから、地下式タンクなどの防火水槽を新たに設置されるよう関係者と早期に検討されたい。



八幡社境内の防火水槽

一層の慎重な財政運営の留意を求める

新年度の一般会計予算は、多額の財政調整基金や池田町で蓄積されてきたふるさと応援基金を取り崩しての予算編成となった。それぞれの基金残高も減少しているため、今後はより一層の慎重な財政運営に留意されたい。

まちなか活性化支援事業の検証を

本来の目的であるまちなか全体のハード面の活性化について十分調査・研究すること、予算執行に当たっては事業のPDCA（計画・実行・評価・改革）の検証を十分に行い事業執行することを求める。

交流センターの運営は町民の協力を

池田町交流センター図書館への蔵書の搬出入に当たっては、町民の皆さんの協力を活用するよう対策を検討することを目指す。また、交流センターの運営については、町民目線にたったものとする。



図書館の蔵書の搬出は町民の力をいたいて

シェアベースにぎわいのガラス破損対策は

予算執行に当たっては、工事関係の「瑕疵」も含め、当事者間のガラス破損の検証に第三者も交え、十分な調査・検証を実施し議会に報告を求める。また、不特定多数の大勢の人が活用する施設であることを十分認識し、ガラス破損の落下などにより生命に関わる事故が発生しないよう、安全に関し十分な管理と対策を求める。

行政全般について

行政全般にわたっては自らの職責を果たすことを第一に、心ある行政運営の一翼を担う使命感と責任を常に心に留め日々の業務に臨むとともに、自ら厳しい注意喚起を行い予算執行にあたることを求める。

〈表紙の紹介〉「メイドイン池田」・・・ヤングパワーで商品開発すすむ!!

第6次産業商品・地産地消が地域力により商品として販売されつつあり喜ばしい。
どら焼きやチョコレートは限定品で残念ながら今期は販売が終了しているが、
今後の生産や商品開発による販売が待ち遠しい。

こだわりのハーブ調味料

町観光協会とハーブセンター、松本大学の共同開発。町産ハーブを家庭料理で美味しく味わってもらうよう試作を重ねた。「ハーブミックス」と「ブーケガルニ」がある。

どら焼き「桜仙狭の月」

保存会と地域おこし協力隊と丸山菓子舗の協働。陸郷の寺島孝さん宅に100年以上前から伝わる小豆の在来種「桜仙狭あずき」と広津産の桑の葉パウダーを使用。定番商品を作りたいと考え、淡い緑色が分かるようまだらのトラ模様。



「Sweet Herb CHOCOLATE」 ハーブチョコレート

産学官の共同で池田町産ハーブを使用。ハーブセンターと松本大学、井上百貨店と共同で開発し、季節限定の500個を販売した。

《製作者・小野咲耶さんのコメント》
町民の方々と一緒に商品開発をしてみても、改めて池田のハーブの素晴らしさを実感した。



議 案 審 議

条
例
改
定

(本会議質疑)

公共施設使用料徴収条例の一部を改正する条例について

- 問** 使用料は近隣を参考に設定されているが、大町市のように減免措置の検討を。
- 答** 10月の消費税の改定時点で検討したい。
- 問** お試し期間や定期的に使用している団体は減免や無料に出来ないか。
- 答** お試し期間の減免や定期的使用団体の無料化は町全体の中で考えていく必要がある。総務課が管轄なので意見のあったことを伝える。

課設置条例の一部を改正する条例について

この4月から、健康福祉課「子ども子育て推進室」を教育委員会事務局へ移管。「文化財保護活用推進室」新設。教育保育課を「学校保育課」として再編

- 問** 子育て推進室を教育委員会に所管替えるメリットは。
- 答** 0歳から15歳までの福祉と教育の連携を密に図るメリットがある。



学校保育課所管となる子ども子育て推進室

変
更
契
約

(本会議質疑)

地域交流センター等建設工事変更請負契約の締結について

- 問** 7月31日完成する後ろ盾はあるのか。
- 答** 業者から文書でもらっているので信用するしかない。



完成待つ池田町交流センター「かえで」

第6次総合計画の策定について

- 問** 基本理念に池田町らしさを感じられないが。
- 答** 美しい町づくりを基本に具体的施策で池田町らしさを織り込んでいく。
- 問** 目標人口最終年度の2028年度は9000人となっているが、割り込む可能性がある。第5次計画も目標が高く、目標人口を割り込んだ。今後、人口と政策の調整を考えるか。
- 答** スタートし、その4年後に人口状況をみて修正が必要か判断する。

(本会議反対討論)

反対討論

服部久子議員

高齢者の足の確保を指摘し解決に取り組むことを記述しながら、具体方針を示さないままの計画案は認められない。また、町にとって重要な会染保育園の方針を記述しないままの計画案に承諾できないので反対する。

今年の10月1日から幼児教育の無償化開始!!

【対象者】

- ☆3歳～5歳までの幼稚園、保育園、認定こども園及び地域型保育を利用するお子さん
- ☆0歳～2歳までは住民税非課税世帯が対象
- ※池田町の認定こども園を利用する1号認定のお子さんの預かり保育は対象にならない。

注目情報!!



陳情審議

総務福祉
委員会

○陳情

- 全国知事会の「米軍基地負担に関する提言」の主旨に基づいて、地方自治の根幹を脅かす日米地位協定の見直しを国に求める意見書について

意見 日米地位協定については、例えば、県内の上空でもオスプレイの低空飛行が数多く目撃され、事前の報告もなく演習も行われているので見直しが必要である。

意見 日米地位協定を全面的に見直すことは賛成できない。よって趣旨採択としたい。
意見 知事会が出すものと、内部への地位協定の見直しを国にということであるので、意見書を提出することは賛成である。

【審査結果】 賛成多数で採択

本会議
審議

陳情

「国に消費税増税中止を求める意見書提出についての陳情書」

賛成です

服部久子議員

国は経済状況が回復したかのように言うがその実感がない。経済の6割を占める家計消費は落ち込み、実質賃金はマイナスという経済状況での増税は国民生活へ深刻な打撃を与える。財源は大企業向けの優遇税制を止め、内部留保を出させアメリカの武器の爆買いを控えれば消費税を上げずに済む。低所得者ほど負担が重くなる消費増税に反対しこの陳情に賛成する。

賛成です

薄井孝彦議員

消費税は社会保障と財政再建に用いるためとのことで導入されたが、社会保障は悪くなるばかりである。国の公債（借金）残高は導入時の160億円から平成30年末883億円（国民1人当たり700万円）になった。税制改正を行い、大企業と富裕層から応分の負担をいただき、無駄をなくすことで消費税10%をやらなくて済むと思うのでこの陳情に賛成する。

振興文教
委員会

○陳情

- 奥山等のスギ・ヒノキ放置人口林を、森林環境贈与税（仮称）で順次計画的に皆伐を進め、天然林に戻すことを求める陳情書

意見 人工林の全伐ははだか山になり危険である。

意見 計画的に伐採すればよいが、生態系が変わる恐れがある。

意見 鳥獣を山に戻す事で被害が減少すると思う。

【審査結果】 賛成少数で不採択

- 通学支援バスに関する陳情書

意見 雨の時の交通事故等考えると、回数券の配布を考えてほしい。

意見 町のバス運行事業や教育財政からしても事実上難しい。

【審査結果】 賛成多数で趣旨採択



雨や雪の日は満席です

○陳情

- 国に「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める陳情書について

- 消費税10%への増税中止を求める意見書について

意見 国は1000兆円の借金がある中で、どこかで財源を確保しなければならない。すでに3党合意で決められており、理解を得て上げていくべきである。

意見 人口激減で8000万人と言われる。このままでは日本が成り立たない。消費税を上げるのはやむを得ないと思う。

【審査結果】 賛成少数で不採択



増税！消費者の生活はどうなる

2月臨時会の概要

2月12日臨時会を開催し、承認3件、議案2件、同意2件を審議し可決した。

30年度池田町一般会計補正予算を可決 繰越明許費 10億5555万3千円

- 農業費 1億8000万円
- 土木費 1億2900万円
- 教育費 7億475万3000円
- 災害復旧費 4180万円

30年度公共土木施設 災害復旧工事請負契約の 締結を可決

- 町道300号線道路災害復旧工事 5184万円

池田町 固定資産評価審査 委員2名に同意

矢口 茂樹さん(滝沢)
赤田喜久市さん(吾妻町)

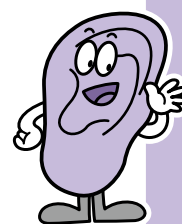


- 池田町高齢者地域支えあい拠点施設設置条例の一部改正を承認
- 高齢者支えあい拠点施設一丁目及び和合の指定管理者の指定を承認



一丁目地域支えあい拠点施設

議会報モニターさんに 聞きました



第121号への感想・要望は

- 「開かれた議会を目指して」の町民との意見交換会は、貴重な機会である。もう少しスペースをとり、参加者の意見を具体的に掲載してほしい。
- 保小中一貫教育の質問があった。課題は2保育園と2小学校の統合に向けた具体的な提案があっても良いのでは。
- 立場により利害関係が違うが、子どもたちの成長には、保育園・小学校・中学校が同窓と云う将来の絆としてメリットは大きいと思うが…。
- 写真を多く使い、文章でわかりづらい内容も効果的に補足できている。小学生の議会見学などは、写真が特に効果的。

知りたい情報は

- 具体的な少子化対策
- 専門学校が開校することで町に求められること
- 美しいまちづくり対策の具体的な対策と進捗状況
- 新規就農者の活躍状況
- 第6次総合計画の特集
- 具体的な交流センター運営
- 折に触れ情報公開ができるよう創意工夫を凝らします。

議会議員への意見は

- 地方議会の関心の高揚に、どのようなことが求められているか、町民の方々と共に考え合っていく時期かと思う。地方議会の活性化に期待する。
- 議会として30代、40代の議員が生まれるような条件整備に取り組んでほしい。
- 議会への関心を深めるため、子どもたちの見学や傍聴など更に進め、子ども議会など定期的に関われるとすばらしい。

ありがとうございました

9 議員が町政をたずねます！

ここが聞きたい

9人が一般質問を行いました

一般質問は、議員の日常活動と調査・研究、町民の声や自身の考え方をもとに、町長や教育長などの方針を問うものです。

池田町は1人60分の制限時間内で質問します。議会だよりは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してあります。臨場感ある本会議での傍聴をお待ちしております。

質問者	質問事項
倉科 栄司	1 町営墓地の駐車場増設について 2 シェアベースにぎわいの現状と新年度の取り組みについて
横澤 はま	1 池田町第6次総合計画施策展開に向けて 2 子どもの「生きる力」を育む池田町の教育について 3 あづみ野池田クラフトパーク振興計画について
薄井 孝彦	1 防災対策について 2 地域交流センターについて 3 「短歌・俳句の里づくり」について
服部 久子	1 会染保育園の早期建設を 2 就学援助の充実を 3 病児保育の実施を 4 高齢者の足の確保を
大出 美晴	1 学生から高齢者までの足の確保は 2 外国人の就学・就労への町としての取り組みは 3 町長は近未来の池田町がどうあって欲しいのか
矢口 新平	1 新年度予算について 2 池田町第6次総合計画について 3 池田町地域交流センターについて
矢口 稔	1 池田町の借入金及び積立金など、今後の財政状況の見通しについて 2 骨髄等移植ドナー助成制度の創設を 3 過去の一般質問におけるその後の対応について 4 各課における課題と来年度への対応について
立野 泰	1 北安観光タクシーの撤退を機に、町営バス、町内巡回線の見直しを 2 既存公共建物等の見直しをどう進めるか
櫻井 康人	1 道の駅、ハーブセンターを拠点とした町の活性化対策について 2 町内全戸一斉取組事業の現状と課題は



町営墓地に駐車場の増設ができないか

倉科栄司 議員

問 中段から上の聖地利用者の便宜を図るため駐車場を増設できないか。

答 墓地公園南側のあずまや付近から入った北側に緑地帯があり、そこに車数台分の駐車場を設置することは可能かもしれない。しかし、現地には滑り台などの遊具があり、利用者への安全面の配慮や付近の聖地への雨水対策などが必要となる。聖地利用者の高齢化も十分考慮し、今後の課題として研究する。

問 シェアベースにぎわいの現況と新年度の取組みは。

答 オープンから8ヶ月を経過した。1階のシェアキッチンを利用したランチ営業、フリースペースを利用しての各種イベントや従前からの晴れるや市の開催など積極的に取り組んで来た。2階のレンタルオフィスは現在3者が入っており、シェアオフィスは2者の利用がある。1階奥の商品開発棟の利用は若干少ないが、シェアベース全体の利用人数はオープン6月から12月末までの間で3425名となり、稼働率については70%程度かと見込んでいる。



池田町の子どもの「生きる力を育む」教育は

横澤はま 議員

問 第6次総合計画における、教育が目指す子どもの将来像の考えは。

答 これまで「学校教育という一つの枠組みにすべての子どもを合わせようと、同じ教育内容を与えてきた」ことの限界を客観的に見直し、「子どもの学びの主体として捉え直し、1人ひとりの能力や特性に丁寧に関わり添った学びの内容と環境づくり」に軸足を変えるべきと考える。

問 「地域の子どもは地域が育てる」という精神を、インクルーシブ教育やキャリア教育を進める中で、どのように展開されていくのか。

答 多様な個性や価値観を受けとめるインクルーシブ教育と、自信をもって自分らしい生き方を見出すキャリア教育は、「生き抜く力」を支える重要な学び。池田学園所の精神と、町民憲章や教育大綱の精神が、この二つの教育理念と重なっており、それを保小中全体のつながりの中で、幼少期から丁寧に積み上げていくことの大切さを確認し進めていく。



防災力強化に防災士を増やす施策は

薄井孝彦 議員

問 昨年の6月議会で、防災力強化に向け防災士を増やす施策を問うた。その後の検討状況は。

答 消防団分団長以上の団員に取得を進めている。また、自主防災組織への補助金交付要綱に「防災士」取得を加える。より利用しやすく、町民参画で運営する交流センターに

問 町民参画で運営する交流センターにするため、「交流センター運営協議会」の設置を。

答 設置を検討する。

問 より町民が利用しやすくするため町登録団体の部屋利用料の減免措置を。関係者の意見・要望を聞いてみたい。

答 ホールがあいている場合はパーティションで仕切った会議室としての使用や親子での遊びなどについて検討を。要望があれば、対応していく。

問 当初予想した計画と利用が大きく異っている施設は何か。

答 コワーキングスペース・商品開発スペースが当初計画より下回っている。商品開発スペース用の調理器具を更に整備するとともに町外の方の利用増につなげるために更にPRに努めたい。

問 施設利用者の安全対策や事業推進のための打合せは。

答 まちなか駐車場を利用しているイベントもあり、道路横断が必要な施設と理解している。交通事故も含めた事故が起きないよう、関係者と話し合いを常にもつていきたい。事業推進に当たっての関係者との打ち合せは当初毎週1回行い、現在は月1回位のペースで実施している。



オープン2年目を迎えるシェアスペース・にぎわい

問 子どもたちが、人工知能による様々な弊害に負けることのないよう、プログラミング教育の導入はどのように考えているか。

答 コンピューターの役割を理解しつつ、資質・能力を培うためにプログラミング教育が生まれたという背景を正確に理解した上で、国内外の先進事例を参考にしつつ、導入と活用を研究したい。

問 県の「学校における働き方改革」では、夏休み連続7日間の「学校閉庁日」を導入すると決めた。当町の対応は。

答 教育の質を上げ、教員のやりがい、意欲向上の両立ができるよう、業務の見直しや働き方など効率化を図る。地域と連携した学校支援のあり方も研究したい。



子どもの生きる力の学舎

池田町を短歌・俳句の里に

問 町の短歌・俳句の歴史を活かし、町が「短歌・俳句の里」になるよう、さらなる取り組みを。

答 短歌・俳句の初心者講座の開催は公民館講座で検討したい。短歌・俳句の町民コンクール・塩尻短歌館への研修ツアーは強い要望があれば検討する。

通学路に面したブロック塀の安全点検は

答 ブロック塀の安全点検は教育委員会でのPTAによる危険箇所確認及び自主防災会への再度の調査依頼で行う。ブロック塀撤去への補助制度は国の補助金も使い、来年度立ち上げを検討していく。建築基準に合わないと思われるブロック塀所有者に文書での依頼も含め効果的な改善方法を検討したい。



姿を現した交流センターの図書館



会染保育園の
早期建設を

服部久子 議員

問

池田保育園が新築されて6年になるが、会染保育園の方針が示されない。防災面からも早急な建設が必要と考えるが、

答

出生数、財政、保小中の連携を考慮し、民営化も含め5月位に協議会を立ち上げる。

就学援助の充実を

問

国は、19年度から援助項目に卒業アルバム代を追加し、入学準備金を1万円増額したが、町が実施していないPTA会費、クラブ活動費、生徒会費、メガネ支援を加え、子育て支援の充実を。

答

小中学校の入学準備金の増額は、前向きに検討する。他の援助項目の追加は研究する。

問

昨年、生活保護費が引き下げになったが、影響と対処は。

答

現在、影響がないが、事案が生じれば検討する。

病児保育の実施を

問

女性の非正規雇用は55%以上で、子どもの病気で休みにくい状況があり、病児保育が急がれる。広域の取り組みが遅



学生から高齢者ま
での足の確保は

大出美晴 議員

問

通学バス運行による、池工生の足の確保の対応は。

答

池工生をはじめ他の高校へ通う生徒の足の確保は大きな課題であり、今後検討していかねばならない。

外国人の就学・就労への町としての
取組みは

問

地域との係りや生活文化の違いをどう調整するのか。

答

3月15日より町職員に兼務辞令を出し、学校法人へ週1日程度出向させる。学生は、国内の日本語学校で2年程学んできている。交通ルール、日本の習慣は身に着いていると聞く。

町長は近未来の池田町がどうあって
欲しいか

問

ほ場整備事業振興による、今後の見通しは。

答

ほ場整備の実施により、大型機械による作業効率の向上が図られ、農業所得の向上が見込める。施設園芸・ワイン用ぶどう等を行える農地確保も重要。全町一農場構想に基づき集積・集約を図る。



会染保育園の新築
は町の財政の中で
可能なのか

矢口新平 議員

問

会染保育園は、池田保育園と比べて大変古くなってきた。今後、移転新築の計画をもっているのか。

答

町の財政状況から判断しても、3年から5年をめどに結論を出す方向で検討していく。

池田町らしさの人口増対策は

問

全国的に少子化が進み人口減少が進んでいる。当町も例外ではない。町独自の取り組みとしてどのような施策を考えているのか。

答

人口増対策として、従来の移住定住施策に加え、民間活力導入による賃貸集合住宅の建設誘致などを進める。町営住宅を含め、賃貸住宅に10年以上住み、当町に土地を購入し住宅を新築される方へ、優遇措置も考えていけば、さらに発展型の住宅施策に結びつけることができる。

問

池田町は、松本・安曇野・塩尻に通勤できる距離である。アルプス山脈や田園風景が素晴らしい場所、土地も安価である。ベッドタウン化を計れないか。

答

ツルや周辺ほか住宅エリアとして欲しいという声がある。土地利用には

い。あづみ病院で実施を。

答 31年度、大町病院の体制が整えば実施する方向になっている。広域で実施後にあづみ病院での実施は検討する。

高齢者の足の確保を

問 町の第6次総合計画案に交通弱者の対策が必要と明記しているが、方針が示されていない。早急な対策を求める。

答 昨年、生活支援サービスについての協議会を立ち上げ、今年度は、高齢者の世帯を訪問し、ニーズ把握調査をした。来年度は、調査結果を踏まえ検討する。

問 生坂村は、24年度からデマンドバスを本格運行している。交通弱者対策の方針を早く出すべきである。

答 デマンド型交通は経済的に困難。足の確保は、協議していく。



病児保育を実施している日赤豊科病院

問 鳥獣被害への有効な対策について。

答 鳥獣進入防止柵事業を継続し、併せて周辺の森林整備を行い緩衝帯を確保する。各農家の農地を守るための防止柵補助金も継続する。

問 まちなかの賑わいを取り戻す商業や観光事業について。

答 商業については、コンパクトシティ化をすること。中心市街地に生活基盤を集中して歩いて生活できる環境づくりを行う。その為に目標を立て取り組んでいく。若い創業希望者に支援をして行きたい。また、池田町の立地条件は厳しいが、進出する企業もあるので、常にアンテナを高くし、情報を取りながら動向を見極めていく。観光事業は、在来宿泊施設の充実と新規宿泊施設の誘客に取り組む。またインバウンドの誘客に力を注ぐ。



池工前のバス停留所

農振除外など各手続きや諸課題がある。県とも相談しながら有効な土地利用を進めていく。

コンパクトシティ構想は

問 町長はコンパクトシティ構想について言われている。地域交流センター「かえで」、まちなか賑わい施設、あづみ総合病院などを中心としたものとあるが、当町は南北に長い立地であるから、会染地区にもハーブセンターや道の駅周辺、ビッグなども核として、コンパクトシティ化ができるのではないかと思うが。

答 高齢化が進むと山間部など買物ひとつにしても暮らし難くなる。コンパクトな環境はひとつ交通弱者対策にもなるのではないかと思う。指摘のとおり南部地区へもこれからの構想として考えていく。



コンパクトシティの中核に!!



今後の財政運営は
大丈夫か

矢口 稔 議員

問

現在、町なかの交流センター建て替え、ワイン用ぶどうほ場の造成など大型公共事業が進行している。町の積立金（基金）は昨年度20億円以上あったが、この一年で約7億円が減少した。来年度予算でも約4億円の取り崩しが予定されている。急激な減少である。また、借入金約100億円を超えている。今後の財政運営は。

答

試算をすると毎年の借金額3億5千万円以内に収まっていれば、第6次総合計画の目標値となる。新ごみ焼却施設建設の負担金が1年後には3億4千万円と高額となる見込みである。今後5年間、借金は増えていく見込みである。その後ゆっくり下降すると思われる。

問

29年度決算では非常に繰越金が少なかった。今後の財政調整基金の積立で見込みは。

答

交流センター、総合体育館の建設が重なったため、繰越が少なかった。また、今年度は余った予算を消化しない通達を出している。概ね6千万円ほど積立たい。



北安観光タクシーの
撤退を偲ぶ

立野 泰 議員

問

永年町民に親しまれた企業が撤退し、他企業が参入との話があった。後を引き継ぐ業者がいると思うが、具体的な説明があったのか。

答

安曇野市の安曇観光タクシーが引き継ぎ、現在の社屋にて業務を行う。タクシーや町営バス運行業務についても引き継ぐとの事である。

問

町営バスや巡回バスの運行について、どんな話し合いをしたのか。

答

11月に来庁され、安曇観光タクシー池田営業所に変更するとの事である。バス運行や運転手もそのまま引き継ぎ、同じ条件で責任をもって運行されるこの事である。31年度は同条件での予算計上で、これからの契約であるが、議会や町民の皆さんに報告が遅くなった事お詫びする。

問

新しい企業が参入するのを機に、町営バス巡回線の見直しやデマンド交通についても検討されたい。

答

町内バスは、定時定路線運行を必要としている利用者が多いと思われる。足の確保は十分とは言えないが、デマンド交通方式も含め、タクシーの補助金、



道の駅池田周辺を
拠点とする活性化
対策を

桜井康人 議員

問

道の駅池田やハーブセンター周辺の町活性化への貢献度は。

答

平成4年池田町ハーブセンター竣工以降、7年に道の駅登録、20年に農産物加工施設、レストランを整備し、現在に至っている。道の駅池田は「花とハーブの里池田町」の顔であり、今後も訪れる人のニーズに応えられるサービス提供が行える施設として力を入れていきたい。

問

オリジナル企画として農業体験、サイクルツーリズムの取り入れを。

答

ハーブを摘み取り、ハーブティーを入れて楽しむ体験など、「見て・触れ・香りで憩う」など、五感で楽しめるガーデンを目指している。また、レンタルサイクル事業では4台をハーブセンターに設置する。観光スポットを巡るサービスや、シェアサイクル事業を安曇野市と連携して道の駅にステーションを設置し、2台のシェアサイクルを常設する予定である。

全町・全戸一斉取り組みの現状や課題は

全町・全戸一斉取り組みの現状や課題は。町民の意識、活動状況を把握

新しい財源確保は

問

新しい財源の確保について、ふるさと納税を真剣に取り組み財源を確保すべきでは。

答

公共施設の屋根6カ所をソーラー設置のため民間企業に貸出し、使用料等を収入にする計画がある。ふるさと納税もポータルサイトの有償オプションも活用して増収を図る。

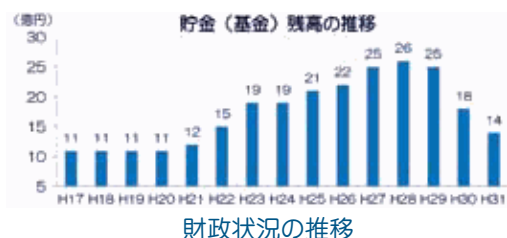
骨髓移植ドナー助成の検討を

問

水泳の池江璃花子選手が白血病と闘っている。ドナー不足が深刻である。入院等の休業補償がないため踏み切れないと聞く。県は半額負担するとしている。当町も助成を制度化してほしいが。

答

近隣市町村の状況を踏まえ研究していきたい。



社協で行っている福祉タクシーの利用等、交通弱者の足の確保に関して話し合いを続ける。

池田町交流センターの運営は

問

地域に親しまれる交流センターを望むがその運営は。

答

交流センターの利用については、人件費1500万円他、多額の維持管理がかかってくる。開館については、交流センターは年末年始の閉館、図書館は祝日開館になる時間拡充などで現行より利便性向上も図っていく。多くの利用者が使用し、小学生の放課後、休日の学習の役割を果たしていきたいと考えている。



住民生活を支えるタクシー業務

しているのか。

参加要請はしているが、全町統一行動デーを除き実態把握まではしていない。

問

状況を把握し、定期的な検証を。また、ユニークな取り組みの紹介を。

答

美しい町づくり委員会で検証。参考になる事例が報告されているので、この動きを拡充し、全町へPRすることは可能。実践するか否かは地域リーダーに負う部分が大きい。

問

町内一斉清掃デーにプラス企画を。

答

美しい町づくり運動に全町民が参加できる企画を委員会でも検討する。



どうする農産物加工施設カモミール

常任委員会活動レポート

総務福祉委員会

デマンド型バス運行について生坂村の事業を視察

生坂村の周回デマンド型交通システムについて研修してきた。池田町でも町内巡回線を定時のデマンド型にすれば、より一層の町内バス運行の利便性が図れるのではないかな。

今後、さらに調査研修していく。



村民生活目線の交通網に学ぶ

【主な内容】

- 村職員が自ら研究し、より良いデマンドシステムを創り上げている。デマンドの予算は毎年5年先まで財政シミュレーションして計画を立てている。
- 歩けない人へは、社協の福祉有償運送システムを、歩ける人には地域の指定場所で定時の周回バスで「やまなみ荘」など中継基地へ接続するシステムである。
- 乗車の申込みはオペレーターを配置し、「やまなみ荘」職員が兼務して人材を有効活用して経費削減を図っている。



※デマンド型交通システムとは…
利用者の事前予約に応じる形で運行経路や運航スケジュールを合わせて運行する地域公共交通を言う。

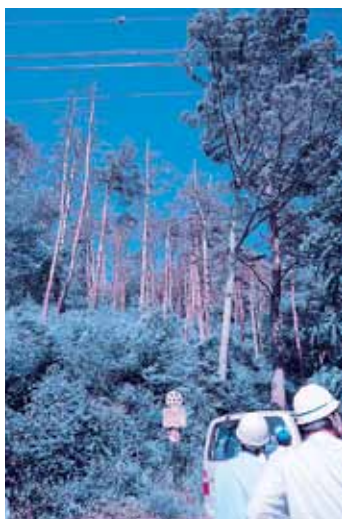
振興文教委員会

町の森林整備その現状と課題を調査した

【現状】

補助事業による森林整備については6地区で協議会を設立し、施業は協議会ごとに大北森林組合と契約をすることで話を進めていた。各地区でそれぞれ調整を図り、契約締結や経営計画の策定を進めてきたが、大北森林組合の補助金不正受給によりすべてが止まった。その他の事業体（大北木材協同組合やラブ・フォレスト）に入っただき、3協議会で整備を再開した。

森林組合では森林経営計画による補助事業に加え、森林税を活用した森林整備を進めることを検討している。



一歩でも進めたい森林整備

【課題】

- 森林整備をさらに推進するために大北森林組合の再生が必要不可欠である。森林組合の再生のため、県からの更なる支援や、計画が策定できる人材の育成・確保が必要である。
- 松くい虫の被害木は材としての付加価値がない。松が混在する森林整備は、国・県の補助金を活用しても採算が取れない。赤字になる分を町が補っている。現在の補助内容を拡充するなど、池田のような激害地での施業に対応できる補助制度が必要である。
- 地主の特定や同意の取得などに多大な時間と労力を要し、現地での施業に入るまでに至らない。施業までの準備の段階に対する支援や、森林簿情報の更新等が必要である。

次期定例会で県などへ陳情書や意見書を提出する計画となった。

食育推進特別委員会レポート

名張市議会 議員提案による政策条例「名張市ばりばり食育条例」に学ぶ

議会議員提案政策条例で「食育条例」を策定した三重県名張市議会を訪ねた。本来、議会は「条例を提案・制定する」権利がある。しかし、実際にはその権利がほとんど行使されていない。その施策を学ぶ。

食育条例策定への取り組みは

○「食育推進条例検討会」を設置

条例策定にあたり各会派の代表で構成する「食育推進条例検討会」を設置し、先進地視察や担当部からの現状聞取りや給食視察などたくさんの会合を重ねている。

○審議は「全会一致」

各会派からの条例案の検討など、徹底した意見の摺り合わせを行っている。

○担当部署からの十分な現状聞取りや意見交換

行政側の健康福祉部・子ども部・産業部・教育委員会・地域部・総務部・企画財政部の関係各署との意見交換、また、法令担当との確認を経て修正し最終確認を行っている。

○パブリックコメントの実施

パブリックコメントの実施を行い、市民からの意見を反映した。また、各種関係団体の代表者と、その役割など摺り合わせを行い原案に盛り込んでいる。



委員会活動の検証

この2年にわたり、条例を視野に入れた食育の調査・研究や条例素案作成及び研修視察を重ねてきた。しかし、池田町の推進計画だけでは具体的で横との連携や地域に根ざした全町的な政策が見えてこないため、委員全員の賛成で底上げするためには条例制定が必要との判断から、改選後も食育推進委員会の設置を引継書に記して、議長に提出した。



名張市議会
川合滋議長・吉住みちこ議員

○執行部との関係を密に

条例への計画作成や変更時の報告、施策の進捗状況の年次報告の義務付けし、改善に向けている。

名張市議会活動に学ぶ

○議会の使命として……

名張市議会は条例提案していくことが議会議員の使命と考え、様々な条例化を追求している。「名張市子ども条例」「名張市ばりばり食育条例」、「ものづくり条例」、「名張のお菓子おもてなし条例」、「伊賀名張の酒・名酒で乾杯を推進する条例」など制定している。

県議を務めた名張市長からも議会に、「この課題で条例を制定してくれとの要請がくる」とのことである。



長福寺ホームページ

住職と共に長福寺へ入らせていただき、もうすぐ3年が経とうとしています。10年以上県外に住んでいたのに、すっかり信州初心者になって戻ってきましたが、ようやくこちらの生活にも慣れてきて、月並みな表現に

なっています。毎日美しい自然に囲まれて幸せだなと感じています。長福寺については町民の皆さんの方がよくご存知だろうと思うのですが、秋の大銀杏の黄葉はとっても美しく、毎年多くの方が見に来られています。この季節だけでなく、四季折々の安曇野の景色が堪能できるとも素敵なお寺です。その裏ではお檀家の皆さまやご近所の皆さまが境内や周囲の整備をしてくださっており、本当にお陰さまです。よ

りたくさんの方に長福寺、それから池田町の魅力を知っていただきたいなと思っています。また一昨年からzen caféという名前でも長福寺だけでなくいろんな場所に出向き坐禅会を行っています。まちなかのシェアベースにぎわいや松本市などで不定期ですが開催をしています。忙しい日常をおすごしの皆さまに「ゆつくりとした時間を提供したい」という想いでやっておりますので、ご興味の



池工野球部の皆さんと坐禅

ある方はぜひお越しください！また、昨年は大学生の皆さんと一緒に「池田つむぐプロジェクト」にも参加させていただき、池田町がより元気になるための活動ができるというなと思っています。

議会報編集委員会が町民の皆さまにお聞きし、生の声を届けます。

町民の皆さんに聞く

— 第10回 —



たけむら みよこ 竹村 美代子 さん (長福寺)

略歴・活動内容

1986年6月生まれ (32歳)
長福寺の住職の妻として寺務に従事。出身は南信の松川町。高校卒業後、京都の大学に進学し、東京でメーカー勤務等を経てUターン。副業でデザインの仕事も少々 (チラシ・ポスター、WEBサイトの制作など)。坐禅イベントzen café やってます!→



境内からの景色

3月定例会を傍聴して

曾根原 鈴美さん (豊町在住)

3月定例会傍聴の目的は病児保育に対する町の回答を聞くためでした。

私たち「実家の茶の間」が参加している県の信州子どもカフェ推進子ども応援プラットフォームのアンケートによれば、池田町内の小学校で回答は少なかつたものの病児保育への切実な書き込みがあったからです。

町長の「あづみ病院に聞かれたでしょうか？返事はどうだったんですか？だめだったでしょうか？」だから町もダメなんですみたいな回答にはがっかりしました。だからこそ、町がもっと積極的財政措置をするなどで病院に働きかけて欲しいのです。町が本当に子育て支援をいっているのであれば、親の負担を少しでも軽くしてほしいと思います。

編集後記

議会は町民のみならずから付託を受けていることを念頭に、議会報が少しでも暮らしに役立つ情報を提供できるように、担当委員で知恵を出し合ってきました。お役に立つことができましたでしょうか。

議会報編集特別委員会

委員長 服部 久子
副委員長 横澤 はま
委員 矢口 新平
委員 和澤 忠志

那須 博天